

令和2年5月22日

令和2年度病害虫防除技術情報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ）の発生に注意して下さい

1. 病害虫名 ツヤアオカメムシ
2. 対象作物 ウメ、スモモ
3. 対象地域 日高地域、西牟婁地域
4. 加害期間 5月上旬～
5. 発生状況

- 1) みなべ町東本庄の予察灯における4月下旬のツヤアオカメムシの誘殺数は143頭（平年74.6頭）とやや多く、5月上旬の誘殺数は1,462頭（平年357.4頭）と多かったが、5月中旬の誘殺数は785頭（平年1,028.8頭）と、5月上旬に比べて減少した（表1）。
- 2) 日高、西牟婁地域でツヤアオカメムシの発生が多くみられるウメ園地が確認されている。

表1 みなべ町の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数(単位:頭)

調査年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	平年
4月下旬	4	1	9	0	12	124	44	0	200	352	143	74.6
5月上旬	535	29	247	2	600	239	173	146	1,574	29	1,462	357.4
5月中旬	71	35	10	62	2,267	1,491	126	81	5,776	369	785	1028.8

6. 防除上の注意事項

- 1) 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きいので、園内での発生及び被害状況を観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- 2) ウメでは被害の品種間差が大きく、小梅類等の収穫の早い品種で集中して加害される傾向があるので、これらの品種では特に注意が必要である。スモモでは山林に隣接する園地でカメムシ類の飛来する時期が早いので、このような園地では特に注意が必要である。
- 3) 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>) や各地域の振興局、JA等の情報を参考にする。
- 4) 農薬については、(独)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病害虫防除所 みなべ駐在 (0739-74-3780)

紀の川駐在 (0736-73-2274)